

授業科目 医動物学

【担当教員名】		対象学年	4	対象学科	臨床
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○			
【概要・一般目標：G10】 人の体に害を及ぼす動物について、その生態を理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 寄生虫を分類する。 2. 寄生虫の自然史と人間の関係について説明する。 3. 寄生虫によって引き起こされる健康被害について説明する。 4. 寄生虫検査の手技について述べる。 5. ダニや蚊などの衛生昆虫が及ぼす健康被害について説明する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	医動物学総論 1			1-3	講義
2	医動物学総論 2			1-3	講義
3	線虫類 1			1-3	講義
4	線虫類 2			1-3	講義
5	線虫類 3			1-3	講義
6	吸虫類 1			1-3	講義
7	吸虫類 2			1-3	講義
8	条虫類 1			1-3	講義
9	条虫類 2			1-3	講義
10	原虫類 1			1-3	講義
11	原虫類 2			1-3	講義
12	原虫類 3			1-3	講義
13	衛生動物			5	講義
14	寄生虫学検査法 1			4	講義
15	寄生虫学検査法 2			4	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		医動物学	吉田幸雄、有菌直樹	南山堂	5,700円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 ・小テスト ・定期試験		【履修上の留意点】 寄生虫症は今尚、国際的に多くの地域で風土病として、健康被害を及ぼしています。日本だけでなく、国際的な視野に立って講義を進めてゆきます。			